

【キーワード】

〔施設種別〕 ■高齢者施設 □障がい者施設 □子ども施設 □住宅
 〔運営主体〕 □市区町村 □法人 □NPO □個人 〔補助金〕 □内閣府 □国土交通省 □厚生労働省
 〔建物形式〕 □1棟単体型 □複数棟集合型 □団地型 〔建物状況〕 ■新築 □増築 □改修 □一部改修 □既存
 〔対象者〕 ■高齢者 □障がい者 □子ども □ファミリー □多世代



写真1. 外観写真

保健、医療、福祉の統合をめざし、健診・ドック、外来・入院・透析、介護、健康増進事業など、各種サービスを行う新築病院である。外来・健診・ドック部門においては、平成21年7月に「黒沢病院附属ヘルスパーククリニック」を、そして、救急・入院部門として、平成26年7月に「黒沢病院」をヘルスパーククリニック隣地に新築移転した経緯をもつ。

■施設情報

所在地：群馬県高崎市矢中町 188

運営主体：医療法人社団美心会

設計：共同建築設計事務所

施設種別：病院 クリニック

診療科目：泌尿器科 泌尿器科（人工透析）

脳神経外科 外科 消化器外科 乳腺外科

整形外科 内科 循環器内科 呼吸器内科

肝臓内科 内視鏡内科 アレルギー科

婦人科 皮膚科 美容皮膚科

リハビリテーション科 麻酔科 歯科

歯科口腔外科 放射線科 病理診断科

敷地面積：17844.35㎡

建築面積：2845.49㎡

延床面積：13,098.41㎡

構造・階数：鉄骨造・免震構造・地上7階 塔屋1階

病床数：130床（SCU12床）

運営開始：

■沿革、運営概要

現敷地から西に約600m、現介護老人保健施設くろさわの位置に旧病院があり（1985年98床）移転新築してきた。現敷地には以前から予防医療のために開設されていたヘルスパーククリニックがあり、そこに隣接する形で新黒沢病院が開設された。



写真1. 1階 時間外待合室

隣接既存クリニック1階のコンセプトに沿う「病院らしくない病院」をテーマに街歩きをモチーフとし構成がなされている。



写真2. 3階 スタッフステーション

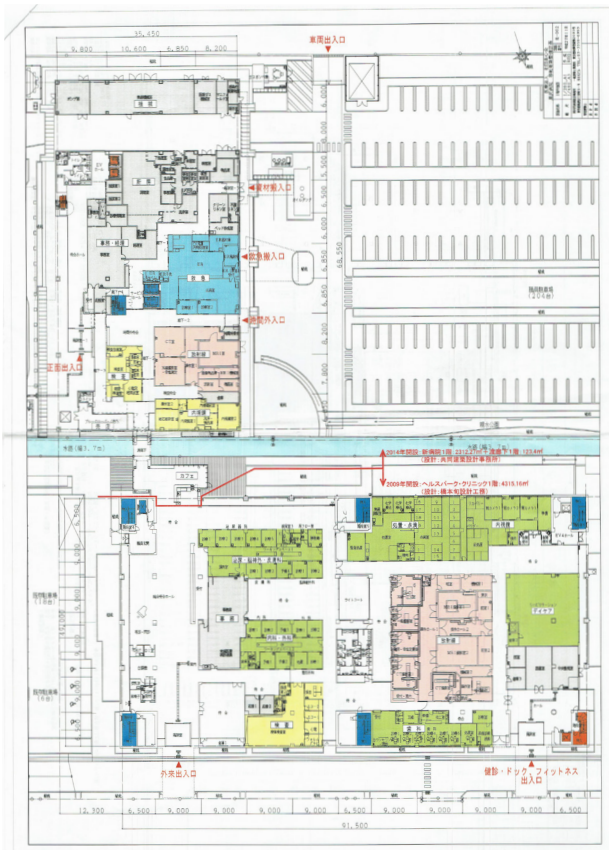


図2. 1階平面図 (見学時 共同建築設計事務所 配布資料より参照)

■施設概要

1階のヘルスケアパークでは「病院らしくない病院」をテーマに街歩きをモチーフとし構成がなされている。まちあいの映画室はその代表的設えである。新黒沢病院の低層階は既存のヘルスパーククリニックのデザインに合わせて外装が設えられている。

1階は放射線、内視鏡などを含める診療部門と管理部門、2階は診療部門と供給部門、3・4階は病と部門という構成となっている。

- ・7階レストランは当初、倉庫として設計されていたが現場にてレストランに移行がなされた。将来的な増床をする際に変更することができる。

- ・電子カルテが採用され、通信は無線LANを使用している。

- ・アンギオ（血管造影検査）を導入している手術室を含めて手術室が3部屋ある。麻酔の導入も手術室にて行われる。

- ・外来+健診棟と入院棟が分かれているため、入院棟では患者は待たせていない。

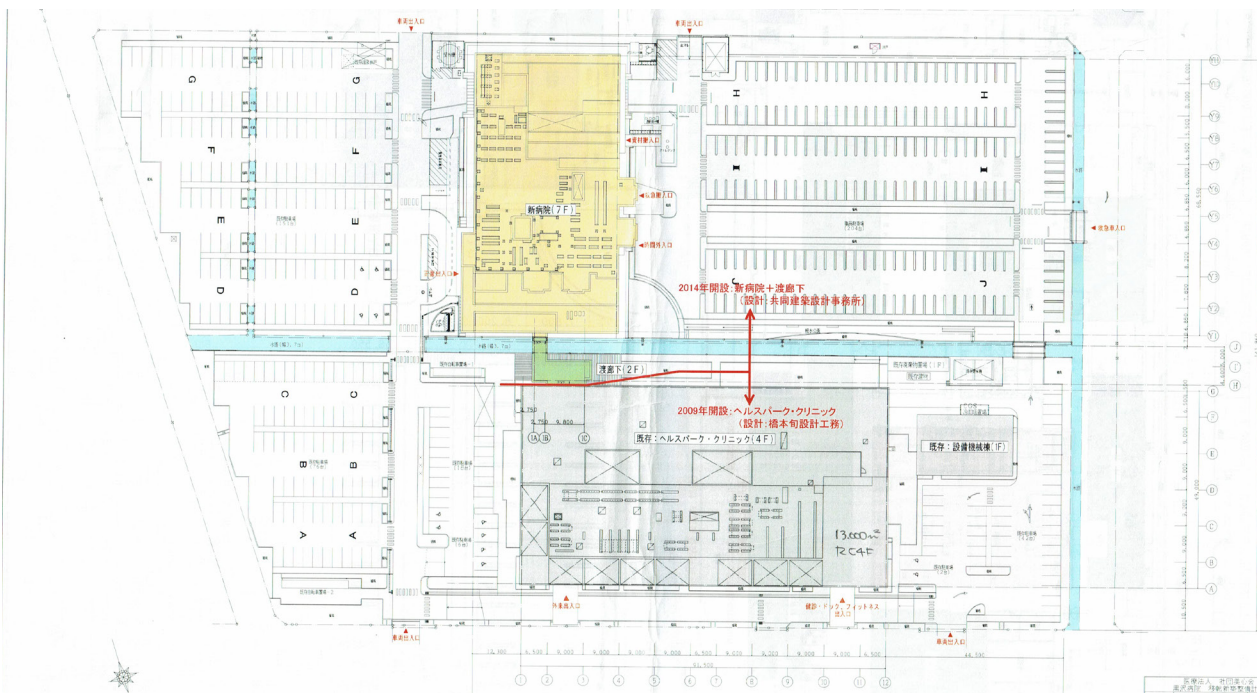


図3. 配置図 (見学時 共同建築設計事務所 配布資料より参照)

・病棟に関してはナースステーションから病室などを見渡せる設えがなされており、当時の看護師長は好印象を持っているという。また個室の使用率は50%以内と収まっており、差額のつかないベットが用意されていることが起因していると考えられる。

・専門病院としては、CT・MRIが一台ずつのみ設置がされているも、ヘルスケアパーク棟にも設置がされているため両方を使っている。今後機器を増加させる場合にも対応ができるという。

・検体検査はクリニックに集中しており、病院規定に準ずるため検体検査部門が最低限配置されたという。

・見学当時は脳外科の手術が269件あり、室数は足りている。

・人間ドック（平成2年～旧黒沢病院の1フロアで）検査内容が大事だが目に見えない。サービス内容と接続を良くした。人の楽しみは食べること。豪華のものを選べるようにした。440→1360→2000→2800人と利用者が増えている。企業との契約も有り。口コミで広がっている。外国人(中国、ロシア)ねらいという話もあったが、現在は余裕がない。突然のキャンセルも相次いで起こったという。通訳が入ることで時間も2倍かかるのでコーディネート料金ももらわないと割に合わないという。

・MRIで全身CKが行える光学ドック22万は受けている。

・SCU12床は見学当時、稼働率は90%ほどであった。季節的な観点からも常時1床は確保しておきたいという意向から、3・4階に移動して貰う予定だ（6階は開けていない）。

・脳卒中患者は翌日からベット横でリハビリを始め、3～4日後にリハビリ室にて行うという。しかし看護スタッフがどれほどリハビリできいるか現状を把握できないという。リハビリ室を各病棟に設置し、PT

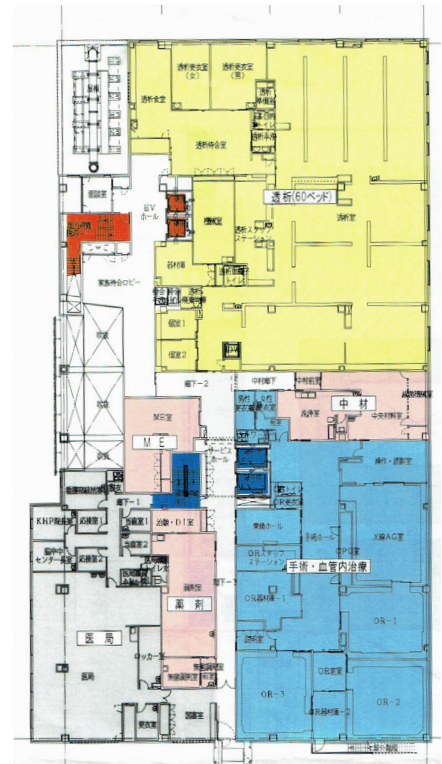


図4. 新病院2階平面図（見学時 共同建築設計事務所 配布資料より参照）

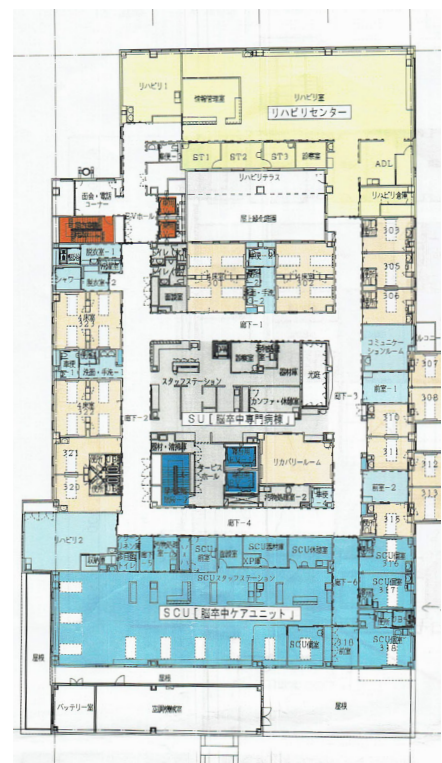


図5. 新病院3階平面図（見学時 共同建築設計事務所 配布資料より参照）

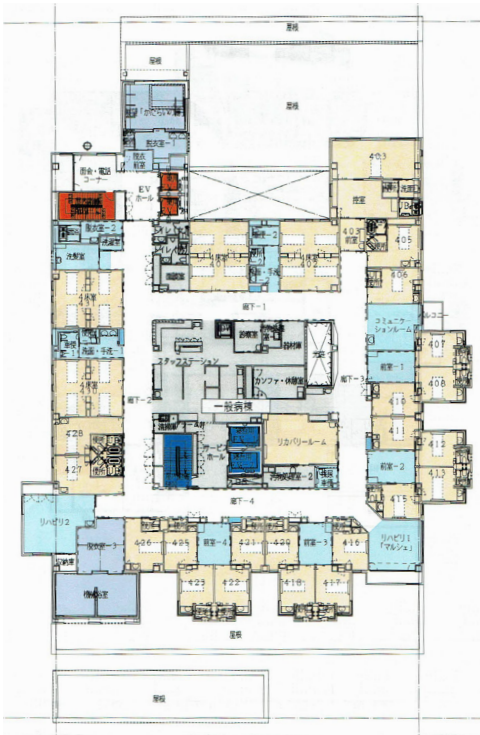


図5. 新病院3階平面図（見学時 共同建築設計事務所配布資料より参照）

（理学療法士）、OT（作業療法士）と看護スタッフが一緒にケアにあたる環境が整えられている。

- ・増築は医師会が権限をもっていた時代だった。旧病院では1、2期が頭にあり増床した。
- ・新病院、クリニックでは各々開設を許可をとっている。



写真3. 3階 SCU

見学当時の稼働率は90%ほどであった。寝台上部にディスプレイが配置されている。

参考文献

- 1) 黒沢病院 HP (<https://www.bishinkai.or.jp/>)
2020年7月20日参照
- 2) 見学・ヒアリング 見学日：2015年11月27日